



平成23年度（2011年度）前期神戸大学石川研究室
中間授業評価アンケート・フィードバック 英語オーラル1/英語オーラル3

●授業の概要

Module 1（ディクテーション）では、課題音声ファイル（短いCNN ニュース2本）のうちいずれか1本をテストとして使用。テスト・回答後、パワーポイントを用いてWords & Expressionsの解説・指導を実施する。

Module 2（フリートーク）では、Module 1 で使用したニュースに関連したトピックを取り上げて、グループでのフリートークを行う。

Module 3（音声学講義）では歯茎摩擦音・歯間摩擦音など、1日にターゲットとする子音2つをペアで取り上げる。当該子音の発音の仕組みをパワーポイントで解説し、発音練習をする。

Module 4（センテンス発音）では、毎回英語の名言を取り上げる。センテンスの意味・発音方法などの解説後、各自で練習を実施。その後、全員が個別に音読テストを受ける。

Module 5（歌詞リスニング）では20世紀のポップスを取り上げ、グループワーク形式で歌詞の穴埋めテストを実施する。

Module 6（英文リーディング）では、Module 5に関連したトピックの英文を読み、グループワーク形式で穴埋めテストを実施する。授業はすべて英語で行い、日本語は一切使用しない。

●本年度の工夫

昨年度までの授業評価アンケート結果を踏まえ、本年度は、下記の点を、例年の授業から変更した。

- 1) ディクテーションテストを自己採点でなく毎回講師による採点に切り替え。
- 2) ディクテーションテストを予習成果の確認と位置づけ、解説なしでテスト。テストの後に解説の順序に変更（従来は解説後にテスト）
- 3) 歌の聞き取りについても、解説→聞き取り→解答のプロセスを、聞き取り→解説→解答に変更。
- 4) 従来は完全にノートテイクを求めていたが、音声学講義の内容のエッセンスや練習のためのセンテンスについて配布プリントに記載することに。

●評価概況（満足度平均スコア /10）

クラス	平均スコア
オーラル I（月3・理学部1）	7.23
オーラル I（月4・工学部1）	7.55
オーラル I（水1・経済学部1）	7.03
オーラル I（水3・工学部1）	7.17
オーラル II（水3・工学部2）	7.60
アドバンストC（火3・選択）	8.50
以上平均	7.51

平成23年度（2011年度）前期神戸大学石川研究室
中間授業評価アンケート・フィードバック
英語オーラル1（月3・理学部1年）

●評価の概要

平均評価点	7.23点/10点	標準偏差 (SD)	1.23	有効回答数	40人
-------	-----------	-----------	------	-------	-----

●評価点

アメリカでの発音の仕方がわかる/文化を学べる/楽しい/高校までで培われなかった英語力がつく/楽しいので英語を使いたくなる/実際に英語を使う機会がある/ネイティブの発音にこだわって授業すること/いろいろな形式の受け答えで授業が構成されている/英語を英語で考える/今までにない音声学としての発音/程よい緊張感/すべて英語なので英語を理解するトレーニングに/本当の発音/時事ネタなどがあっておもしろい/眠くならない/曲の穴埋めはやる気も出てたのしい/発音テストは頑張ろうという気に/先生面白い/英語の音楽などが使われている/発音のポイントが具体的で分かりやすい/すべて英語なので緊張感がある/発音丁寧/リスニング実践的/発音の仕方がわかりやすい/英語に慣れる/対話式のコミュニケーションの時間が長い/歌など身近/進行が適切/ディクテでは実際の英語の速さに慣れる/授業がすべて英語/指名して学生を授業に参加させる/授業中での英語がプリントになっているので復習しやすい/雰囲気/フリートーク/洋楽・早口言葉みたいなもの/英語で話す・聞く機会が増えた/具体的な発音を学べる/テンポ/全体の空気/ジョーク/アットホーム/テストなのでやる気が出る/90分細かくモジュールに分かれていて取り組みやすい/説明わかりやすい/英語の曲の紹介/やる気があれば伸びると思う/本当の英語なので実用的/先生独特/グループワーク/歌詞うめ/ずっと英語なので耳が慣れてくる/高校でやっていなかったのありがたい/英語を話そうと意識する/時間が早く感じる/勉強という堅苦しいイメージをなくしつつも緊張感がある/受験勉強とのギャップに戸惑ったが実的な英語力が付けられそうだと実感/声がよく聞こえる/アクティブ/パワポを近くで見られる/先生の発音が上手/発音を先生自身がしていること/雰囲気がかたなくないこと/英語に触れる時間が充分にあること/すべて英語を使って授業をし、学生に伝えようとしていること/リスニングの練習が充分にできる

●改善点

時々英語についていけない/ディクテの答えを記入する時間がほしい/ディクテが少し難しい/ディクテの回答用紙の番号がわかりにくかった/何をしたいのかわからないときがある/たまに聞き取れない/でも怖くて質問できない/グループワークをもっとしたい/個別の発音テストはみんなの前なので緊張する/ポップス音楽は発音が分かりにくい/ディクテ難しい/リスニングのスク립ト終わった後でほしい/発音テストでどこが悪いかわからない/リスニングが利くだけになっているので消滅した音とか説明してほしい/ファイルをパソコンから落とすのはやめてほしい。下宿でパソコンを持っていなかったのが困った/英語に慣れるまでちょっと難しい/もっと雑談などを学生にふって急な質問に答える力をつける練習をしてほしい/課題のディクテが難しい/日常的に使える英語を教えてほしい/テスト大変/日本語をもう少し聞きたい/ディクテの予習難しい/ディクテがわからない/開き直らないと隣の人と気まずい/グループの相談時間が短い/体力を使う/書いている間に次の聞きのがすためディクテが難しい/

1枚のスライドが短い／英語だけだと理解できない／ipodに落とせない／ディクテの課題を聞いていると頭が痛くなる／たまにどういうことかわからないときがある／ディクテが難しすぎる（明らかに聞こえない部分）／ディクテの文をテストの前にほしい／パワーポがみづらい／平常点が大きすぎてしんどい／真面目にがんばったら救済してほしい／遅刻にシビアすぎて不安／フリートークで使いそうな単語を先に教えてほしい／発音テストの準備時間がほしい／リーディングの穴埋めはいらない／フリートークを減らす／先生の英語がうまいのはわかるが他の人の発音がどのように良くてまた悪いのかを明示してほしい／講義が食後なこと／歌の答え合わせの後でもう1回聞きたい／発音テストをなくしてほしい／点数が取れにくい／そもそもこの授業形態は好きでない／個人的に楽しくない／授業のポイントがわからない

●講師コメント

全体として一定の評価を得ているようですので、基本的には後半も同一の方針に従って授業運営を進めていきます。発音をきちんと学ぶ経験がこれまで少なかったせいか、退屈せず、興味を持って授業に取り組んでくれている方が多かったのは講師としても大変うれしく感じたところでした。一方、改善点について貴重な意見をいただきました。まず、ディクテーションテストについてですが、これはレベルを落として簡単なものを聞いても効果は薄いです。あくまでも今使われているレベルの英語、皆さんが真に必要なレベルの英語との格闘が大事です。その意味で、今、苦勞されていることは目標にいたるまでの正しい道のりです。聞いても聞いてもわからない、というのが、ぼんやりわかる、はっきりわかる、と言う風に段階が必ず変化してきます。つらいところかと思いますが、なんとか頑張って自分のリスニング力の上昇を実感できるチャンスを持っていただければと思います。第2に、時に英語での説明がわからないということですが、できるだけみなさんに質問がないか確認するようにしますので、遠慮なく質問してください。わからなければ恥ずかしがらずその場で手をあげるのも、これも英語のトレーニングの一部です。第3に、個別の発音の良し悪しについては、全体ではなかなか時間をかけて行いにくいのですが、深い指導を受けたい方は、メールでアポを取っていただければ、できる限り対応します。良い授業は、教員と学生の協同作業で生まれるものだと思います。皆さんの貴重なご意見に感謝します。では、後半も頑張っていきましょう！

平成23年度（2011年度）前期神戸大学石川研究室
中間授業評価アンケート・フィードバック
英語オーラル1（月4・工学部1年）

●評価の概要

平均評価点	7.55点／10点	標準偏差（SD）	1.40	有効回答数	42人
-------	-----------	----------	------	-------	-----

●評価点

楽しいので眠くない／授業の全てが英語／眠くない／楽しい／協調性が生まれる／発音が良くなる／小テストでモチベーションがあがる／先生の言葉が聞き取りやすい／グループワーク／本物の英語が学べる／英語に慣れる／今まで曖昧にしていた発音を基本からやり直せる／1回の授業でいろいろな方向から学べる／モジュールを分けているのでメリハリがあっている／すべて英語／英語の聞き取りに慣れた／洋楽は新鮮で面白い／毎回のテスト／毎回のディクテがあるので英語を聞く習慣がつく／モジュールが細かく分かれているので飽きずに集中力が続く／丁寧な授業／授業内容が濃密／緊張感／モジュール／正しい発音学べる／洋楽楽しみ／生の英語／延長しない／積極的に英語で話し合いで切る／発音を理論的に学べる／個別の発音テスト／先生の英語は聞き取りやすい／フリートークで英語を使う体験をすること／英語圏の文化や音楽を知ることができる／日本の発明や研究についても英語のニュースで聞けるので異なった観点で見られる／Easy to understand／Class is divided into modules／集中力が途切れない／英語だけ使うと言う環境／モジュール別ですぐに授業が終わってしまうぐらい充実している／退屈しない／発音のあやふやなところが大分解決できた／授業でやること・順番が決まっていること／宿題がない／授業スピード／歌／単語の発音を教えてもらえること／受けていて飽きない／音楽／発音の説明は細かくてわかりやすい／グループですること／英語なこと／様々な話題を扱うこと／英語を使って実際に話せる／すべて英語／授業のスピード／ポップス／授業ではきれいな英語、ディクテでは癖のある英語、両方のトレーニングになっている／やることが多く眠くない

●改善点

英語で話すこと／ディクテのスピードが速い／レジュメほしい／ディクテの難しさ／ディクテが難しい／平常点がちゃんとあるか必要以上に心配になる／ディクテが利いてもわからないときがあるのでタイトルだけでも教えてほしい／ディクテが難しい／すべて英語なので聞き取れないことがある／ディクテの難度高い／英語苦手なので緊張する／予習が辛い／ディクテの時に書く時間が短い／休講がない／点数がなかなか取れない（発音）／グループメンバーの差により得点差が激しい／グループの連帯責任が怖い／発音のときにネイティブの音をもっと聞かせてほしい／個人的にディクテが難しくついていけない／ディクテが聞き取りにくい／ディクテのレベルが高すぎる／連絡事項が聞き取れないことがある／英語授業なのでたまに気が付いたらさっぱりなことがある／事前に聞いてもスコアにほとんど影響が出ない／毎回テストはちょっと・・・／ディクテが難しい（少し早い）／メモを取る余裕がない／ディクテが難しい／ディクテがだいたい難しい／整理しやすいプリントになりませんか／プリントがまだきていないのにディクテのテストが始まる／実力ない人にはディクテがすぎる／ディクテが何回聞いても聞き取れないほど難しい／ディクテは聞いただけではわからないのにテストは難しい

●講師コメント

全体として一定の評価を得ているようですので、基本的には後半も同一の方針に従って授業運営を進めていきます。発音をきちんと学ぶ経験がこれまで少なかったせいか、退屈せず、興味を持って授業に取り組んでくれている方が多かったのは講師としても大変うれしく感じたところでした。

一方、改善点として貴重な意見をいただきました。まず、ディクテーションテストについてですが、難しいという意見が多くありました。ただ、これはレベルを落として簡単なもの（日本人用の吹き替えなど）を聞いても実際の効果は薄いでしょう。あくまでも今英語圏でふつうに使われているレベルの英語、近い将来に皆さんが真に必要なレベルの英語との格闘が大事です。その意味で、今、苦勞されていることは目標にいたるまでの正しい道のりです。聞いても聞いてもわからない、というのが、ぼんやりわかる、やがて、はっきりわかる、という風に段階が必ず変化してきます。つらいところかと思いますが、なんとか頑張って自分のリスニング力の上昇を実感できるチャンスを持っていただければと思います。工学部のみなさんは、全神大生の中で最も英語に近い人たちです。院に行けば、教授と一緒に海外の学会に行き、やりとりすることも日常的に>あります。まずはこのディクテのレベルを乗り越えることです。

第2に、時に英語での説明がわからないということですが、できるだけみなさんに質問がないか確認するようにしますので、遠慮なく質問してください。わからなければ恥ずかしがらずその場で手をあげるのも英語のトレーニングの一部です。

第3に、グループの連帯責任が不安ということですが、グループで協力し合って英語を使うのは、研究や仕事では当たり前のことで、その責任を共同で追うのも、また当然のことです。ただ、もし希望があるなら、こちらでグループを強制的に入れ替えることも可能です。これについては、授業で皆さんの意向を聞いてみたいと思います。

良い授業は、教員だけでも学生だけでも作れません。教員と学生の協同作業ではじめて生まれるものであり、それができたときにもっとも学びがうまく成立するのだと思います。皆さんの貴重なご意見に感謝します。では、後半も頑張っていきましょう！

平成23年度（2011年度）前期神戸大学石川研究室
中間授業評価アンケート・フィードバック
英語オーラル2（水4・工学部2年）

●評価の概要

平均評価点	7.17点／10点	標準偏差（SD）	2.49	有効回答数	36人
-------	-----------	----------	------	-------	-----

●評価点

集中力が続き眠たくなならない，90分ずっと英語，楽しい，フリートークが楽しい，授業が早く終わるところ，初めて英語のみの授業が受けられた，歌聞くのは毎回楽しみです，時事問題（コーラとか）の話おもしろい，good for skill up in English，発音の勉強がためになる，英語で会話する機会がある，フリートークがよい，発音も，発音，聞き取りやすい英語，音楽は楽しい，フリートークいい感じ，授業がすべて英語，リスニング・グループワーク，グループワーク，使える英語が学べる，グループワークは助かる，発音・グループワーク，細かい発音方法，opportunity for speaking English，歌の選曲，英語を話せる，発音の練習ができる，フリートーク

●改善点

教室移動が遠い，ちょっとめんどくさい，リスニング課題難しい，listening is a little difficult，リスニングが少し難しすぎる，評価が厳しい，歌，聞き取りが難しい，成績評価厳しい，予習の聞き取りがちょっと難しい，ディスカッション微妙，発音テストの採点，発音テストの採点基準がわからない，発音増やしてほしい，きれいな英語を話したい，TOEIC強くなりたい，することが多い，リスニングの予習難しい，ディクテ，dictionary is not needed，最初のテストをもう少し考えさせてほしい，発音テストをどう採点しているかわからない，進行が速くゆとりがない，ディクテが難しすぎる，小テストが難しい，boring，フリートークはきらい，ずっと英語はやめてほしい

●講師コメント

全体として一定の評価を得ているようですので，基本的には後半も同一の方針に従って授業運営を進めていきます。発音をきちんと学ぶ経験がこれまで少なかったせいも，あまり退屈されず，興味を持って授業に取り組んでくれている方が多かったのは講師としても大変うれしく感じたところでした。

一方で，厳しい評価もあり，改善点として貴重な意見をいただきました。以下，主要な意見についてコメントを行います。

■ディクテーションテストが難しい

多くの方がこういう印象を持っておられるようです。確かに簡単ではありませんが，仮にレベルを落として簡単なもの（日本人用の吹き替えなど）を聞いても英語力を鍛えるという意味での効果は薄いでしょう。あくまでも今英語圏でふつうに使われているレベルの英語，近い将来に皆さんが真に必要なレベルの英語との格闘が大事です。その意味で，今，苦勞されていることは目標にいたるまでの正しい道のりです。聞いても聞いてもわからない，というのが，ぼんやりわかる，やがて，はっきりわかる，という風に段階が必ず変化してきます。つらいところかと思いますが，なんとか頑張って自分のリスニング力の上昇を実感できるチャンスを持っていただければと思います。工学部のみなさんは，全神大生の中で最も英語に近い人たちです。院に行けば，教授と一緒に

海外の学会に行き、やりとりすることも<日常的に>あります。まずはこのディクテのレベルを乗り越えることです。

■発音テストの採点基準

概ね以下の基準でつけています。まず、声が前まできちんと聞こえること。これを満たしていればおよそ 3/5 点がついています。コミュニケーションの基本は相手に聞こえるということです。次に、「ノンネイティブとして十分にクリアな発音であり、どの単語を発音しているのか全く迷いなく 100%理解できる」レベルであれば 5 点となります。誤解がないように申しておく、ネイティブっぽいから 5 点というわけではありません。センテンスのすべての部分がミスなく明瞭に伝われば 5 点がつきます。4 はこれにやや足りない場合です。発音が不明瞭なところ、抑揚の不自然なところがセンテンス全体のおよそ 20%未満（1 か所か 2 か所）におさまっていれば 4 点になります。この箇所がもう少し増えて、20~40%程度（3~5 か所）になれば、3 点となります。

個別の発音の改善点については、一斉授業の中ではなかなか時間をかけて行いくいのですが、細かい指導を受けたい方は、メールでアポを取ってください。20 分程度いただければ個別に対応します。発音の個人指導は、一度受けるとかなり上達します。

■進行スピード・進行パターン

速すぎる、ワンパターンで退屈になりがちだ、というコメントもありました。スピードについては、たとえば、スライドの進め方など、もし早すぎてメモを取れないと思ったことがあれば、遠慮なく手をあげて知らせてください。また、内容ですが、この授業では、決まったモジュールを決まった順序でこなしていくために、そのような印象を与えているものと思います。全体の中で 2 回のワークショップを予定していますので、通常モジュール以外の視点から英語を見るチャンスをもっていただけるよう工夫したいと思います。

■さいごに

良い授業は、教員だけでも学生だけでも作れません。教員と学生の協同作業ではじめて生まれるものであり、それができたときにもっとも英語の学びがうまく成立するのだと思います。皆さんの貴重なご意見に感謝します。では、残り半分となりましたが、後半も頑張っていきましょう！

平成23年度（2011年度）前期神戸大学石川研究室
中間授業評価アンケート・フィードバック
英語オーラル1（水1・経済学部1年）

●評価の概要

平均評価点	7.03点／10点	標準偏差（SD）	1.76	有効回答数	38人
-------	-----------	----------	------	-------	-----

●評価点

洋楽の紹介，相手を選んで英語でやりとり，先生の英語を通して日本人である私がどのようにして英語で言いたいことを言えばいいのかが参考になる，英語が自然に聞き取れるようになりそう，ネイティブ発音に近くて良い，面白い，英語にたくさん触れられる，英語が聞けて楽しい，授業がもっとあってほしい，眠くない，音楽を聞くのが意外と知らない良い曲ばかり，発音練習，音楽，眠くない，洋楽聞くのは楽しい，歌など実践的な英語が身に付きそう，数少ない英語を話す機会である，講義が英語だと集中するので眠くない，長時間英語を聞く，発音が正しいかどうかわかる，英語を学ぶきっかけになる，英語を聞く機会が増える，フリートークで話せる，発音指導を受けたことがなかったのだからなる，いろいろなことをまなべる，雰囲気楽しい，リスニング，洋楽好き，音楽，グループで協力するところ，ニュースや歌を使ったテスト，グループ，全体的に楽しい，会話楽しい，グループ，ずっと英語を聞いていられる。宿題が課されることでいやでも英語を聞く機会ができた，ちゃんとした発音を学ぶ，英語身近に，普段使わない英語が話せる，授業が英語なので今まで知らなかった英語が聞ける，リスニングの練習，フリートーク

●改善点

1限，発音にそれほどの重要性を感じられない，ディクテのやり方，ディクテでやらなかった方の解説がない，1限目はだるい，ディクテが難しい，同じグループの人がわからないからプリントを回せない，英語ばかりで少し疲れる，教室が遠い，スクリプトなしでディクテをやっても全然聞き取れないので意味があるという自信がない，フリートークが少ない，2人は少ない，遅刻に厳しい，先生の英語がたまにわからない白板の文字が小さい，速い，グループワークの文法の問題，発音練習，あてられたらどうしようと思うと緊張する，教室が遠い，選曲のセンスが微妙，リスニングが難しい，毎回のテストが大変，初めのテストが難しい，発音の点数が取れない，毎回テストで疲れる，電車の遅れをすごく気にしなきゃだめ，発音の発表緊張する，ディクテ聞き取れない，1限にあること，最初のディクテが難しく嫌い，ディクテ面倒くさい，ディクテ苦痛，発音テスト苦手，説明が全部英語でたまにわからない

●講師コメント

全体として一定の評価を得ているようですので，基本的には後半も同一の方針に従って授業運営を進めていきます。発音をきちんと学ぶ経験がこれまで少なかったせいか，あまり退屈されず，興味を持って授業に取り組んでくれている方が多かったのは講師としても大変うれしく感じたところでした。

一方で，改善点として貴重な意見をいただきました。以下，主要な意見についてコメントを行います。

■ディクテーションテストが難しい

多くの方がこういう印象を持っておられるようです。確かに簡単ではありませんが，

仮にレベルを落として簡単なもの（日本人用の吹き替えなど）を聞いても英語力を鍛えるという意味での効果は薄いでしょう。あくまでも今英語圏でふつうに使われているレベルの英語、近い将来に皆さんが真に必要なレベルの英語との格闘が大事です。その意味で、今、苦勞されていることは目標にいたるまでの正しい道のりです。聞いても聞いてもわからない、というのが、ぼんやりわかる、やがて、はっきりわかる、という風に段階が必ず変化してきます。つらいところかと思いますが、なんとか頑張っただけで自分のリスニング力の上昇を実感できるチャンスを持っていただければと思います。

■発音テストが難しい／採点基準が知りたい

概ね以下の基準でつけています。まず、声が前まできちんと聞こえること。これを満たしていればおよそ 3/5 点がついています。コミュニケーションの基本は相手に聞こえるということです。次に、「ノンネイティブとして十分にクリアな発音であり、どの単語を発音しているのか全く迷いなく 100%理解できる」レベルであれば 5 点となります。誤解がないように申しておくと、ネイティブっぽいから 5 点というわけではありません。センテンスのすべての部分がミスなく明瞭に伝われば 5 点がつきます。4 はこれにやや足りない場合です。発音が不明瞭なところ、抑揚の不自然なところがセンテンス全体のおよそ 20%未満（1 か所か 2 か所）におさまっていれば 4 点になります。この箇所がもう少し増えて、20~40%程度（3~5 か所）になれば、3 点となります。

個別の発音の改善点については、一斉授業の中ではなかなか時間をかけて行いにくいのですが、細かい指導を受けたい方は、メールでアポを取ってください。20 分程度いただければ個別に対応します。発音の個人指導は、一度受けるとかなり上達します。

■遅刻に厳しすぎる

遠方の方も多く、1 時間目なので大変だと思いますが、かといって遅刻を許すとは申せない状況をご理解いただければと思います。厳しいようですが、たとえば社会人が遅刻したら減給され、それが度重なれば懲戒もありえます。仕事の面会の約束に遅れたら、契約が取れなくなるだけでなく、会社に巨大な損害を与える可能性もあるでしょう。大学生になった諸君を「大人」だと思って接したく思います。負担をかけますが、なんとか頑張っただけで遅れないようにいらしていただければと思います。

■さいごに

良い授業は、教員だけでも学生だけでも作れません。教員と学生の協同作業ではじめて生まれるものであり、それができたときにもっとも英語の学びがうまく成立するのだと思います。皆さんの貴重なご意見に感謝します。では、残り半分となりましたが、後半も頑張っていきましょう！

平成23年度（2011年度）前期神戸大学石川研究室
中間授業評価アンケート・フィードバック
英語オーラル1（水3・工学部1年）

●評価の概要

平均評価点	7.60点／10点	標準偏差（SD）	1.37	有効回答数	43人
-------	-----------	----------	------	-------	-----

●評価点

発音練習，いろいろな英語が聞ける，I feel that we can actually speak in English，発音練習があるのはありがたい，中身のある授業，全部英語，耳が英語に慣れそう，正しい発音，ふだん英語使わないので良い機会，楽しい，歌，フリートークのテーマ，時間いっぱい英語に触れる，歌のグループワーク，聞き取る・話す力がつく，free talk，今まで発音について学んでこなかったので役立つ，コミュニケーション能力の向上，英語への興味，発音に対する意識の変化，発音練習，フリートークは難しいけど自分の言いたいことを表現する練習としていい，英語に慣れる，洋楽，リアルな英語，グループワーク，フリートーク，自分で英語を話す機会が多い，class is not sleepy at all，授業の構成がわかりやすく意義のある授業になっている，聞き取り，発音がわかりやすい，ナイスグループワーク，ナイス選曲，これほど英語に触れることはないので良い，ディクテが集中して聴ける，洋楽リスニング，フリートーク，全部英語，発音・リスニング，フリートークで英語で話すことに慣れる，英語での講義，ディクテのためにリスニングを日頃するようになる，本格的，正しい発音，詳しい発音練習，授業に工夫がある，リスニングがある，

●改善点

指名されてしゃべるのがいや，Pronunciation practice is difficult，ディクテが何回聞いてもわからないほど難しい，ディクテ難しい，発音テストのやり方が少し効率的でない，授業の準備ができたときとそうでないときで出来の差が激しく大変，リーディングは必要かちょっとわからない，やることが多くめまぐるしい，ディクテと発音のテストのプレッシャー，授業が全部英語なのでわからなくてもそのままになってしまう，厳しすぎる，ディクテが難しい，ディクテの紙がいきわたる前に再生することがある，ディクテが難しい，発音難しい，紙を集めるときに配り始めたところから集めてほしい，発音が難しい，たまに意味がとれない，ディクテの再生の間をもう少し空けてほしい，発音テスト緊張する，ディクテはちゃんと後ろの人が名前を書いてから始めてほしい，発音テスト緊張してやりたくない，音楽の単語を聞くのは難しすぎる，発音テストで0か5はやめてほしい，個人的なことですがディクテが難しく予習で聞いてもわからない，発音テスト，ディクテ難しい，なかなかリスニング力につかない，授業が英語なので意味を理解するのが困難

●講師コメント

全体として一定の評価を得ているようですので，基本的には後半も同一の方針に従って授業運営を進めていきます。発音をきちんと学ぶ経験がこれまで少なかったせいかな，あまり退屈されず，興味を持って授業に取り組んでくれている方が多かったのは講師としても大変うれしく感じたところでした。

一方で，改善点として貴重な意見をいただきました。以下，主要な意見についてコメントを行います。

■ディクテーションテストが難しい

多くの方がこういう印象を持っておられるようです。確かに簡単ではありませんが、仮にレベルを落として簡単なもの（日本人用の吹き替えなど）を聞いても英語力を鍛えるという意味での効果は薄いでしょう。あくまでも今英語圏でふつうに使われているレベルの英語、近い将来に皆さんが真に必要なレベルの英語との格闘が大事です。その意味で、今、苦勞されていることは目標にいたるまでの正しい道のりです。聞いても聞いてもわからない、というのが、ぼんやりわかる、やがて、はっきりわかる、という風に段階が必ず変化してきます。つらいところかと思いますが、なんとか頑張っただけで自分のリスニング力の上昇を実感できるチャンスを持っていただければと思います。

■発音テストが難しい／苦手だ／採点基準が知りたい

概ね以下の基準でつけています。まず、声が前まできちんと聞こえること。これを満たしていればおよそ 3/5 点がついています。コミュニケーションの基本は相手に聞こえるということです。次に、「ノンネイティブとして十分にクリアな発音であり、どの単語を発音しているのか全く迷いなく 100%理解できる」レベルであれば 5 点となります。誤解がないように申しておくと、ネイティブっぽいから 5 点というわけではありません。センテンスのすべての部分がミスなく明瞭に伝われば 5 点がつきます。4 はこれにやや足りない場合です。発音が不明瞭なところ、抑揚の不自然なところがセンテンス全体のおよそ 20%未満（1 か所か 2 か所）におさまっていれば 4 点になります。この箇所がもう少し増えて、20~40%程度（3~5 か所）になれば、3 点となります。

個別の発音の改善点については、一斉授業の中ではなかなか時間をかけて行いくいのですが、細かい指導を受けたい方は、メールでアポを取ってください。20 分程度いただければ個別に対応します。発音の個人指導は、一度受けるとかなり上達します。

■ときどき英語での説明が聞き取れない

できるだけみなさんに質問がないか確認するようにしますので、遠慮なく質問してください。わからなければ恥ずかしがらずその場で手をあげるのも英語のトレーニングの一部です。

■さいごに

良い授業は、教員だけでも学生だけでも作れません。教員と学生の協同作業ではじめて生まれるものであり、それができたときにもっとも英語の学びがうまく成立するのだと思います。皆さんの貴重なご意見に感謝します。では、残り半分となりましたが、後半も頑張っていきましょう！

平成23年度（2011年度）前期神戸大学石川研究室
中間授業評価アンケート・フィードバック
英語アドバンスト（火3・自由選択）

●評価の概要

平均評価点	8.50点／10点	標準偏差（SD）	0.97	有効回答数	16人
-------	-----------	----------	------	-------	-----

●評価点

厳しい指導，プレゼンの面白さが分かった，プレゼン回数が多い，何度か人前で発表できる，多数の人からもらえる評価，プレゼンの作り方の細かい説明はこれからの自分に必要な能力なのでありがたい，英語で練習するので英作文の力もあがる，論理的思考を意識するようになった，クラスみんながやる気があるので負けたくないと思える，全くやり方を知らなかったのがためになった，発表する機会，ためになるアドバイス，パワポ実用的，プレゼン練習のいい機会，みんなからの評価，論理的思考，今まであまりなかった話す練習，人に物を伝える技術が身につく，先生の個別アドバイス，みんなの感想，授業内容はわかりやすい，うまい人のプレゼンを見るので参考になる，大変だがやりがいがある，**I can get evaluations of my presentation from all of the class**，先生がめっちゃ的確なアドバイス，先生のモデルプレゼン，コメントシート，プレゼンの仕方を論理的に分かりやすく学べる，自分のプレゼンにいろいろな意見がもらえて人の物も参考にできる，発表の場が多い，周りのレベルが高くて自分もまじめにやらないと思う，プレゼンに関する英語表現を学べる，人の発表を聞く，授業が英語，リスニング・トーキングスキルがアップ，プレゼンする場がないのでここで練習できる，

●改善点

もっと授業がほしい，Q&Aの練習をもっとしたい，2週サイクルで回ってくるのが少々しんどい・・・ですが成長できるので別に平気です，もう少しそれぞれの提案に議論を交わす時間がほしい，発音のレクチャーもしてほしい，本番が5分なのになぜ授業が3分かの理由が明確でない，テーマについて改善するようアドバイスされたが直し方がいまいわからない，あてられると困る，1単位しか手に入らない，交友関係を広げられない，人のプレゼンを聞くだけの日が少し退屈する（仕方ないことですが），最初考えていた授業内容と少し違っていた，精神的にしんどい，自分には少しレベルの高い授業なのでときどきしんどい，トピックは自分で決められるようにしてほしい，小テストの後のスライドのペースが速いです，

●講師コメント

全体として一定の評価を得ているようですので，基本的には後半も同一の方針に従って授業運営を進めていきます。プレゼンをきちんと学ぶ経験がこれまで少なかったせいかな，あまり退屈されず，新鮮味を持って授業に取り組んでくれている方が多かったのは講師としても大変うれしく感じたところでした。

一方で，改善点として貴重な意見をいただきました。以下，主要な意見についてコメントを行います。

★Q&A練習：6月以降，本番に向けて増やしていきます。まずはその前に質問の出ないようにプレゼンそのもののロジックをあげることを優先して指導します／★2週サイクル：申し訳ないです。。が，逆に言えば，隔週で発表ができるというのはこのうえなく贅沢な練習環境ともいえないでしょうか？／★もっと議論時間：納得です。後半以降時間を作っ

ていきましょう。また個人チュートリアルも活用ください／★発音レクチャー：本番直前に必ずやります／★本番5分なのになぜ3分：この段階では1度にたくさんの人に練習してほしいので3分にしています。5分で作ったものの途中から始める、などでもOKです／★テーマの直し方：個人チュートリアルお待ちしております！／★1単位：このへんカリキュラムのことも考えてみます。大学全体で検討中です／★交友関係：本番の後の懇親会、お楽しみに／★人のプレゼン聞くだけだと退屈：後半以降、ディスカッションの時間を入れていきます／★精神的にしんどい：プレゼンは楽しむものなので、そう感じていただけるよう配慮します／レベルの高い授業なのでときどきしんどい：実社会では英語のプレゼンはもはや基本ツール。皆さんの基礎力でできない話ではありません。安心してください／★トピック自由に：今回はコンテストを前提にしているので申し訳ない。しかしこのテーマの中でも個性は十分に出せると思います／★スライドのペース：了解。早かったら遠慮なく声をかけてください。

最後に、良い授業は、教員だけでも学生だけでも作れません。教員と学生の協同作業ではじめて生まれるものであり、それができたときにもっとも英語の学びがうまく成立するのだと思います。皆さんの貴重なご意見に感謝します。では、残り半分となりましたが、後半も頑張っていきましょう！また、コンテスト、楽しみましょう！！



平成23年度（2011年度）前期神戸大学石川研究室
中間授業評価アンケート・フィードバック 英語オーラル1/英語オーラル3

●授業の概要

Module 1（ディクテーション）では、課題音声ファイル（短いCNN ニュース2本）のうちいずれか1本をテストとして使用。テスト・回答後、パワーポイントを用いてWords & Expressionsの解説・指導を実施する。

Module 2（フリートーク）では、Module 1 で使用したニュースに関連したトピックを取り上げて、グループでのフリートークを行う。

Module 3（音声学講義）では歯茎摩擦音・歯間摩擦音など、1日にターゲットとする子音2つをペアで取り上げる。当該子音の発音の仕組みをパワーポイントで解説し、発音練習をする。

Module 4（センテンス発音）では、毎回英語の名言を取り上げる。センテンスの意味・発音方法などの解説後、各自で練習を実施。その後、全員が個別に音読テストを受ける。

Module 5（歌詞リスニング）では20世紀のポップスを取り上げ、グループワーク形式で歌詞の穴埋めテストを実施する。

Module 6（英文リーディング）では、Module 5に関連したトピックの英文を読み、グループワーク形式で穴埋めテストを実施する。授業はすべて英語で行い、日本語は一切使用しない。

●本年度の工夫

昨年度までの授業評価アンケート結果を踏まえ、本年度は、下記の点を、例年の授業から変更した。

- 1) ディクテーションテストを自己採点でなく毎回講師による採点に切り替え。
- 2) ディクテーションテストを予習成果の確認と位置づけ、解説なしでテスト。テストの後に解説の順序に変更（従来は解説後にテスト）
- 3) 歌の聞き取りについても、解説→聞き取り→解答のプロセスを、聞き取り→解説→解答に変更。
- 4) 従来は完全にノートテイクを求めていたが、音声学講義の内容のエッセンスや練習のためのセンテンスについて配布プリントに記載することに。

●評価概況（満足度平均スコア /10）

クラス	平均スコア
オーラル I（月3・理学部1）	7.23
オーラル I（月4・工学部1）	7.55
オーラル I（水1・経済学部1）	7.03
オーラル I（水3・工学部1）	7.17
オーラル II（水3・工学部2）	7.60
アドバンストC（火3・選択）	8.50
以上平均	7.51

平成23年度（2011年度）前期神戸大学石川研究室
中間授業評価アンケート・フィードバック
英語オーラル1（月3・理学部1年）

●評価の概要

平均評価点	7.23点/10点	標準偏差 (SD)	1.23	有効回答数	40人
-------	-----------	-----------	------	-------	-----

●評価点

アメリカでの発音の仕方がわかる/文化を学べる/楽しい/高校までで培われなかった英語力がつく/楽しいので英語を使いたくなる/実際に英語を使う機会がある/ネイティブの発音にこだわって授業すること/いろいろな形式の受け答えで授業が構成されている/英語を英語で考える/今までにない音声学としての発音/程よい緊張感/すべて英語なので英語を理解するトレーニングに/本当の発音/時事ネタなどがあっておもしろい/眠くならない/曲の穴埋めはやる気も出てたのしい/発音テストは頑張ろうという気に/先生面白い/英語の音楽などが使われている/発音のポイントが具体的で分かりやすい/すべて英語なので緊張感がある/発音丁寧/リスニング実践的/発音の仕方がわかりやすい/英語に慣れる/対話式のコミュニケーションの時間が長い/歌など身近/進行が適切/ディクテでは実際の英語の速さに慣れる/授業がすべて英語/指名して学生を授業に参加させる/授業中での英語がプリントになっているので復習しやすい/雰囲気/フリートーク/洋楽・早口言葉みたいなもの/英語で話す・聞く機会が増えた/具体的な発音を学べる/テンポ/全体の空気/ジョーク/アットホーム/テストなのでやる気が出る/90分細かくモジュールに分かれていて取り組みやすい/説明わかりやすい/英語の曲の紹介/やる気があれば伸びると思う/本当の英語なので実用的/先生独特/グループワーク/歌詞うめ/ずっと英語なので耳が慣れてくる/高校でやっていなかったのありがたい/英語を話そうと意識する/時間が早く感じる/勉強という堅苦しいイメージをなくしつつも緊張感がある/受験勉強とのギャップに戸惑ったが実用的な英語力が付けられそうだと実感/声がよく聞こえる/アクティブ/パワポを近くで見られる/先生の発音が上手/発音を先生自身がしていること/雰囲気がかたなくないこと/英語に触れる時間が充分にあること/すべて英語を使って授業をし、学生に伝えようとしていること/リスニングの練習が充分にできる

●改善点

時々英語についていけない/ディクテの答えを記入する時間がほしい/ディクテが少し難しい/ディクテの回答用紙の番号がわかりにくかった/何をしたいのかわからないときがある/たまに聞き取れない/でも怖くて質問できない/グループワークをもっとしたい/個別の発音テストはみんなの前なので緊張する/ポップス音楽は発音が分かりにくい/ディクテ難しい/リスニングのスク립ト終わった後でほしい/発音テストでどこが悪いかわからない/リスニングが利くだけになっているので消滅した音とか説明してほしい/ファイルをパソコンから落とすのはやめてほしい。下宿でパソコンを持っていなかったのが困った/英語に慣れるまでちょっと難しい/もっと雑談などを学生にふって急な質問に答える力をつける練習をしてほしい/課題のディクテが難しい/日常的に使える英語を教えてほしい/テスト大変/日本語をもう少し聞きたい/ディクテの予習難しい/ディクテがわからない/開き直らないと隣の人と気まずい/グループの相談時間が短い/体力を使う/書いている間に次の聞きのがすためディクテが難しい/

1枚のスライドが短い／英語だけだと理解できない／ipodに落とせない／ディクテの課題を聞いていると頭が痛くなる／たまにどういうことかわからないときがある／ディクテが難しすぎる（明らかに聞こえない部分）／ディクテの文をテストの前にほしい／パワーポがみづらい／平常点が大きすぎてしんどい／真面目にがんばったら救済してほしい／遅刻にシビアすぎて不安／フリートークで使いそうな単語を先に教えてほしい／発音テストの準備時間がほしい／リーディングの穴埋めはいらぬ／フリートークを減らす／先生の英語がうまいのはわかるが他の人の発音がどのように良くてまた悪いのかを明示してほしい／講義が食後なこと／歌の答え合わせの後でもう1回聞きたい／発音テストをなくしてほしい／点数が取れにくい／そもそもこの授業形態は好きでない／個人的に楽しくない／授業のポイントがわからない

●講師コメント

全体として一定の評価を得ているようですので、基本的には後半も同一の方針に従って授業運営を進めていきます。発音をきちんと学ぶ経験がこれまで少なかったせいか、退屈せず、興味を持って授業に取り組んでくれている方が多かったのは講師としても大変うれしく感じたところでした。一方、改善点について貴重な意見をいただきました。まず、ディクテーションテストについてですが、これはレベルを落として簡単なものを聞いても効果は薄いです。あくまでも今使われているレベルの英語、皆さんが真に必要なレベルの英語との格闘が大事です。その意味で、今、苦勞されていることは目標にいたるまでの正しい道のりです。聞いても聞いてもわからない、というのが、ぼんやりわかる、はっきりわかる、と言う風に段階が必ず変化してきます。つらいところかと思いますが、なんとか頑張って自分のリスニング力の上昇を実感できるチャンスを持っていただければと思います。第2に、時に英語での説明がわからないということですが、できるだけみなさんに質問がないか確認するようにしますので、遠慮なく質問してください。わからなければ恥ずかしがらずその場で手をあげるのも、これも英語のトレーニングの一部です。第3に、個別の発音の良し悪しについては、全体ではなかなか時間をかけて行いくいのですが、深い指導を受けたい方は、メールでアポを取っていただければ、できる限り対応します。良い授業は、教員と学生の協同作業で生まれるものだと思います。皆さんの貴重なご意見に感謝します。では、後半も頑張っていきましょう！

平成23年度（2011年度）前期神戸大学石川研究室
中間授業評価アンケート・フィードバック
英語オーラル1（月4・工学部1年）

●評価の概要

平均評価点	7.55点／10点	標準偏差（SD）	1.40	有効回答数	42人
-------	-----------	----------	------	-------	-----

●評価点

楽しいので眠くない／授業の全てが英語／眠くない／楽しい／協調性が生まれる／発音が良くなる／小テストでモチベーションがあがる／先生の言葉が聞き取りやすい／グループワーク／本物の英語が学べる／英語に慣れる／今まで曖昧にしていた発音を基本からやり直せる／1回の授業でいろいろな方向から学べる／モジュールを分けているのでメリハリがあっている／すべて英語／英語の聞き取りに慣れた／洋楽は新鮮で面白い／毎回のテスト／毎回のディクテがあるので英語を聞く習慣がつく／モジュールが細かく分かれているので飽きずに集中力が続く／丁寧な授業／授業内容が濃密／緊張感／モジュール／正しい発音学べる／洋楽楽しみ／生の英語／延長しない／積極的に英語で話し合いで切る／発音を理論的に学べる／個別の発音テスト／先生の英語は聞き取りやすい／フリートークで英語を使う体験をすること／英語圏の文化や音楽を知ることができる／日本の発明や研究についても英語のニュースで聞けるので異なった観点で見られる／Easy to understand／Class is divided into modules／集中力が途切れない／英語だけ使うと言う環境／モジュール別ですぐに授業が終わってしまうぐらい充実している／退屈しない／発音のあやふやなところが大分解決できた／授業でやること・順番が決まっていること／宿題がない／授業スピード／歌／単語の発音を教えてもらえること／受けていて飽きない／音楽／発音の説明は細かくてわかりやすい／グループですること／英語なこと／様々な話題を扱うこと／英語を使って実際に話せる／すべて英語／授業のスピード／ポップス／授業ではきれいな英語、ディクテでは癖のある英語、両方のトレーニングになっている／やることが多く眠くない

●改善点

英語で話すこと／ディクテのスピードが速い／レジュメほしい／ディクテの難しさ／ディクテが難しい／平常点がちゃんとあるか必要以上に心配になる／ディクテが利いてもわからないときがあるのでタイトルだけでも教えてほしい／ディクテが難しい／すべて英語なので聞き取れないことがある／ディクテの難度高い／英語苦手なので緊張する／予習が辛い／ディクテの時に書く時間が短い／休講がない／点数がなかなか取れない（発音）／グループメンバーの差により得点差が激しい／グループの連帯責任が怖い／発音のときにネイティブの音をもっと聞かせてほしい／個人的にディクテが難しくついていけない／ディクテが聞き取りにくい／ディクテのレベルが高すぎる／連絡事項が聞き取れないことがある／英語授業なのでたまに気が付いたらさっぱりなことがある／事前に聞いてもスコアにほとんど影響が出ない／毎回テストはちょっと・・・／ディクテが難しい（少し早い）／メモを取る余裕がない／ディクテが難しい／ディクテがだいたい難しい／整理しやすいプリントになりませんか／プリントがまだきていないのにディクテのテストが始まる／実力ない人にはディクテがすぎる／ディクテが何回聞いても聞き取れないほど難しい／ディクテは聞いただけではわからないのにテストは難しい

●講師コメント

全体として一定の評価を得ているようですので、基本的には後半も同一の方針に従って授業運営を進めていきます。発音をきちんと学ぶ経験がこれまで少なかったせいか、退屈せず、興味を持って授業に取り組んでくれている方が多かったのは講師としても大変うれしく感じたところでした。

一方、改善点として貴重な意見をいただきました。まず、ディクテーションテストについてですが、難しいという意見が多くありました。ただ、これはレベルを落として簡単なもの（日本人用の吹き替えなど）を聞いても実際の効果は薄いでしょう。あくまでも今英語圏でふつうに使われているレベルの英語、近い将来に皆さんが真に必要なレベルの英語との格闘が大事です。その意味で、今、苦勞されていることは目標にいたるまでの正しい道のりです。聞いても聞いてもわからない、というのが、ぼんやりわかる、やがて、はっきりわかる、という風に段階が必ず変化してきます。つらいところかと思いますが、なんとか頑張って自分のリスニング力の上昇を実感できるチャンスを持っていただければと思います。工学部のみなさんは、全神大生の中で最も英語に近い人たちです。院に行けば、教授と一緒に海外の学会に行き、やりとりすることも日常的に>あります。まずはこのディクテのレベルを乗り越えることです。

第2に、時に英語での説明がわからないということですが、できるだけみなさんに質問がないか確認するようにしますので、遠慮なく質問してください。わからなければ恥ずかしがらずその場で手をあげるのも英語のトレーニングの一部です。

第3に、グループの連帯責任が不安ということですが、グループで協力し合って英語を使うのは、研究や仕事では当たり前のことで、その責任を共同で追うのも、また当然のことです。ただ、もし希望があるなら、こちらでグループを強制的に入れ替えることも可能です。これについては、授業で皆さんの意向を聞いてみたいと思います。

良い授業は、教員だけでも学生だけでも作れません。教員と学生の協同作業ではじめて生まれるものであり、それができたときにもっとも学びがうまく成立するのだと思います。皆さんの貴重なご意見に感謝します。では、後半も頑張っていきましょう！

平成23年度（2011年度）前期神戸大学石川研究室
中間授業評価アンケート・フィードバック
英語オーラル2（水4・工学部2年）

●評価の概要

平均評価点	7.17点／10点	標準偏差（SD）	2.49	有効回答数	36人
-------	-----------	----------	------	-------	-----

●評価点

集中力が続き眠たくなならない，90分ずっと英語，楽しい，フリートークが楽しい，授業が早く終わるところ，初めて英語のみの授業が受けられた，歌聞くのは毎回楽しみです，時事問題（コーラとか）の話おもしろい，good for skill up in English，発音の勉強がためになる，英語で会話する機会がある，フリートークがよい，発音も，発音，聞き取りやすい英語，音楽は楽しい，フリートークいい感じ，授業がすべて英語，リスニング・グループワーク，グループワーク，使える英語が学べる，グループワークは助かる，発音・グループワーク，細かい発音方法，opportunity for speaking English，歌の選曲，英語を話せる，発音の練習ができる，フリートーク

●改善点

教室移動が遠い，ちょっとめんどくさい，リスニング課題難しい，listening is a little difficult，リスニングが少し難しすぎる，評価が厳しい，歌，聞き取りが難しい，成績評価厳しい，予習の聞き取りがちょっと難しい，ディスカッション微妙，発音テストの採点，発音テストの採点基準がわからない，発音増やしてほしい，きれいな英語を話したい，TOEIC強くなりしたい，することが多い，リスニングの予習難しい，ディクテ，dictionary is not needed，最初のテストをもう少し考えさせてほしい，発音テストをどう採点しているかわからない，進行が速くゆとりがない，ディクテが難しすぎる，小テストが難しい，boring，フリートークはきらい，ずっと英語はやめてほしい

●講師コメント

全体として一定の評価を得ているようですので，基本的には後半も同一の方針に従って授業運営を進めていきます。発音をきちんと学ぶ経験がこれまで少なかったせいかな，あまり退屈されず，興味を持って授業に取り組んでくれている方が多かったのは講師としても大変うれしく感じたところでした。

一方で，厳しい評価もあり，改善点として貴重な意見をいただきました。以下，主要な意見についてコメントを行います。

■ディクテーションテストが難しい

多くの方がこういう印象を持っておられるようです。確かに簡単ではありませんが，仮にレベルを落として簡単なもの（日本人用の吹き替えなど）を聞いても英語力を鍛えるという意味での効果は薄いでしょう。あくまでも今英語圏でふつうに使われているレベルの英語，近い将来に皆さんが真に必要なレベルの英語との格闘が大事です。その意味で，今，苦勞されていることは目標にいたるまでの正しい道のりです。聞いても聞いてもわからない，というのが，ぼんやりわかる，やがて，はっきりわかる，という風に段階が必ず変化してきます。つらいところかと思いますが，なんとか頑張って自分のリスニング力の上昇を実感できるチャンスを持っていただければと思います。工学部のみなさんは，全神大生の中で最も英語に近い人たちです。院に行けば，教授と一緒に

海外の学会に行き、やりとりすることも<日常的に>あります。まずはこのディクテのレベルを乗り越えることです。

■発音テストの採点基準

概ね以下の基準でつけています。まず、声が前まできちんと聞こえること。これを満たしていればおよそ 3/5 点がついています。コミュニケーションの基本は相手に聞こえるということです。次に、「ノンネイティブとして十分にクリアな発音であり、どの単語を発音しているのか全く迷いなく 100%理解できる」レベルであれば 5 点となります。誤解がないように申しておく、ネイティブっぽいやらから 5 点というわけではありません。センテンスのすべての部分がミスなく明瞭に伝われば 5 点がつきます。4 はこれにやや足りない場合です。発音が不明瞭なところ、抑揚の不自然なところがセンテンス全体のおよそ 20%未満（1 か所か 2 か所）におさまっていれば 4 点になります。この箇所がもう少し増えて、20~40%程度（3~5 か所）になれば、3 点となります。

個別の発音の改善点については、一斉授業の中ではなかなか時間をかけて行いくいのですが、細かい指導を受けたい方は、メールでアポを取ってください。20 分程度いただければ個別に対応します。発音の個人指導は、一度受けるとかなり上達します。

■進行スピード・進行パターン

速すぎる、ワンパターンで退屈になりがちだ、というコメントもありました。スピードについては、たとえば、スライドの進め方など、もし早すぎてメモを取れないと思ったことがあれば、遠慮なく手をあげて知らせてください。また、内容ですが、この授業では、決まったモジュールを決まった順序でこなしていくために、そのような印象を与えているものと思います。全体の中で 2 回のワークショップを予定していますので、通常モジュール以外の視点から英語を見るチャンスをもっていただけるよう工夫したいと思います。

■さいごに

良い授業は、教員だけでも学生だけでも作れません。教員と学生の協同作業ではじめて生まれるものであり、それができたときにもっとも英語の学びがうまく成立するのだと思います。皆さんの貴重なご意見に感謝します。では、残り半分となりましたが、後半も頑張っていきましょう！

平成23年度（2011年度）前期神戸大学石川研究室
中間授業評価アンケート・フィードバック
英語オーラル1（水1・経済学部1年）

●評価の概要

平均評価点	7.03点／10点	標準偏差（SD）	1.76	有効回答数	38人
-------	-----------	----------	------	-------	-----

●評価点

洋楽の紹介，相手を選んで英語でやりとり，先生の英語を通して日本人である私がどのようにして英語で言いたいことを言えばいいのかが参考になる，英語が自然に聞き取れるようになりそう，ネイティブ発音に近くて良い，面白い，英語にたくさん触れられる，英語が聞けて楽しい，授業がもっとあってほしい，眠くない，音楽を聞くのが意外と知らない良い曲ばかり，発音練習，音楽，眠くない，洋楽聞くのは楽しい，歌など実践的な英語が身に付きそう，数少ない英語を話す機会である，講義が英語だと集中するので眠くない，長時間英語を聞く，発音が正しいかどうかわかる，英語を学ぶきっかけになる，英語を聞く機会が増える，フリートークで話せる，発音指導を受けたことがなかったのだからなる，いろいろなことをまなべる，雰囲気楽しい，リスニング，洋楽好き，音楽，グループで協力するところ，ニュースや歌を使ったテスト，グループ，全体的に楽しい，会話楽しい，グループ，ずっと英語を聞いていられる。宿題が課されることでいやでも英語を聞く機会ができた，ちゃんとした発音を学ぶ，英語身近に，普段使わない英語が話せる，授業が英語なので今まで知らなかった英語が聞ける，リスニングの練習，フリートーク

●改善点

1限，発音にそれほどの重要性を感じられない，ディクテのやり方，ディクテでやらなかった方の解説がない，1限目はだるい，ディクテが難しい，同じグループの人がわからないからプリントを回せない，英語ばかりで少し疲れる，教室が遠い，スクリプトなしでディクテをやっても全然聞き取れないので意味があるという自信がない，フリートークが少ない，2人は少ない，遅刻に厳しい，先生の英語がたまにわからない白板の文字が小さい，速い，グループワークの文法の問題，発音練習，あてられたらどうしようと思うと緊張する，教室が遠い，選曲のセンスが微妙，リスニングが難しい，毎回のテストが大変，初めのテストが難しい，発音の点数が取れない，毎回テストで疲れる，電車の遅れをすごく気にしなきゃだめ，発音の発表緊張する，ディクテ聞き取れない，1限にあること，最初のディクテが難しく嫌い，ディクテ面倒くさい，ディクテ苦痛，発音テスト苦手，説明が全部英語でたまにわからない

●講師コメント

全体として一定の評価を得ているようですので，基本的には後半も同一の方針に従って授業運営を進めていきます。発音をきちんと学ぶ経験がこれまで少なかったせいか，あまり退屈されず，興味を持って授業に取り組んでくれている方が多かったのは講師としても大変うれしく感じたところでした。

一方で，改善点として貴重な意見をいただきました。以下，主要な意見についてコメントを行います。

■ディクテーションテストが難しい

多くの方がこういう印象を持っておられるようです。確かに簡単ではありませんが，

仮にレベルを落として簡単なもの（日本人用の吹き替えなど）を聞いても英語力を鍛えるという意味での効果は薄いでしょう。あくまでも今英語圏でふつうに使われているレベルの英語、近い将来に皆さんが真に必要なレベルの英語との格闘が大事です。その意味で、今、苦勞されていることは目標にいたるまでの正しい道のりです。聞いても聞いてもわからない、というのが、ぼんやりわかる、やがて、はっきりわかる、という風に段階が必ず変化してきます。つらいところかと思いますが、なんとか頑張っただけで自分のリスニング力の上昇を実感できるチャンスを持っていただければと思います。

■発音テストが難しい／採点基準が知りたい

概ね以下の基準でつけています。まず、声が前まできちんと聞こえること。これを満たしていればおよそ 3/5 点がついています。コミュニケーションの基本は相手に聞こえるということです。次に、「ノンネイティブとして十分にクリアな発音であり、どの単語を発音しているのか全く迷いなく 100%理解できる」レベルであれば 5 点となります。誤解がないように申しておくと、ネイティブっぽいから 5 点というわけではありません。センテンスのすべての部分がミスなく明瞭に伝われば 5 点がつきます。4 はこれにやや足りない場合です。発音が不明瞭なところ、抑揚の不自然なところがセンテンス全体のおよそ 20%未満（1 か所か 2 か所）におさまっていれば 4 点になります。この箇所がもう少し増えて、20~40%程度（3~5 か所）になれば、3 点となります。

個別の発音の改善点については、一斉授業の中ではなかなか時間をかけて行いにくいのですが、細かい指導を受けたい方は、メールでアポを取ってください。20 分程度いただければ個別に対応します。発音の個人指導は、一度受けるとかなり上達します。

■遅刻に厳しすぎる

遠方の方も多く、1 時間目なので大変だと思いますが、かといって遅刻を許すとは申せない状況をご理解いただければと思います。厳しいようですが、たとえば社会人が遅刻したら減給され、それが度重なれば懲戒もありえます。仕事の面会の約束に遅れたら、契約が取れなくなるだけでなく、会社に巨大な損害を与える可能性もあるでしょう。大学生になった諸君を「大人」だと思って接したく思います。負担をかけますが、なんとか頑張っただけで遅れないようにいらしていただければと思います。

■さいごに

良い授業は、教員だけでも学生だけでも作れません。教員と学生の協同作業ではじめて生まれるものであり、それができたときにもっとも英語の学びがうまく成立するのだと思います。皆さんの貴重なご意見に感謝します。では、残り半分となりましたが、後半も頑張っていきましょう！

平成23年度（2011年度）前期神戸大学石川研究室
中間授業評価アンケート・フィードバック
英語オーラル1（水3・工学部1年）

●評価の概要

平均評価点	7.60点／10点	標準偏差（SD）	1.37	有効回答数	43人
-------	-----------	----------	------	-------	-----

●評価点

発音練習，いろいろな英語が聞ける，I feel that we can actually speak in English，発音練習があるのはありがたい，中身のある授業，全部英語，耳が英語に慣れそう，正しい発音，ふだん英語使わないので良い機会，楽しい，歌，フリートークのテーマ，時間いっぱい英語に触れる，歌のグループワーク，聞き取る・話す力がつく，free talk，今まで発音について学んでこなかったので役立つ，コミュニケーション能力の向上，英語への興味，発音に対する意識の変化，発音練習，フリートークは難しいけど自分の言いたいことを表現する練習としていい，英語に慣れる，洋楽，リアルな英語，グループワーク，フリートーク，自分で英語を話す機会が多い，class is not sleepy at all，授業の構成がわかりやすく意義のある授業になっている，聞き取り，発音がわかりやすい，ナイスグループワーク，ナイス選曲，これほど英語に触れることはないので良い，ディクテが集中して聴ける，洋楽リスニング，フリートーク，全部英語，発音・リスニング，フリートークで英語で話すことに慣れる，英語での講義，ディクテのためにリスニングを日頃するようになる，本格的，正しい発音，詳しい発音練習，授業に工夫がある，リスニングがある，

●改善点

指名されてしゃべるのがいや，Pronunciation practice is difficult，ディクテが何回聞いてもわからないほど難しい，ディクテ難しい，発音テストのやり方が少し効率的でない，授業の準備ができたときとそうでないときで出来の差が激しく大変，リーディングは必要かちょっとわからない，やることが多くめまぐるしい，ディクテと発音のテストのプレッシャー，授業が全部英語なのでわからなくてもそのままになってしまう，厳しすぎる，ディクテが難しい，ディクテの紙がいきわたる前に再生することがある，ディクテが難しい，発音難しい，紙を集めるときに配り始めたところから集めてほしい，発音が難しい，たまに意味がとれない，ディクテの再生の間をもう少し空けてほしい，発音テスト緊張する，ディクテはちゃんと後ろの人が名前を書いてから始めてほしい，発音テスト緊張してやりたくない，音楽の単語を聞くのは難しすぎる，発音テストで0か5はやめてほしい，個人的なことですがディクテが難しく予習で聞いてもわからない，発音テスト，ディクテ難しい，なかなかリスニング力につかない，授業が英語なので意味を理解するのが困難

●講師コメント

全体として一定の評価を得ているようですので，基本的には後半も同一の方針に従って授業運営を進めていきます。発音をきちんと学ぶ経験がこれまで少なかったせいかな，あまり退屈されず，興味を持って授業に取り組んでくれている方が多かったのは講師としても大変うれしく感じたところでした。

一方で，改善点として貴重な意見をいただきました。以下，主要な意見についてコメントを行います。

■ディクテーションテストが難しい

多くの方がこういう印象を持っておられるようです。確かに簡単ではありませんが、仮にレベルを落として簡単なもの（日本人用の吹き替えなど）を聞いても英語力を鍛えるという意味での効果は薄いでしょう。あくまでも今英語圏でふつうに使われているレベルの英語、近い将来に皆さんが真に必要なレベルの英語との格闘が大事です。その意味で、今、苦勞されていることは目標にいたるまでの正しい道のりです。聞いても聞いてもわからない、というのが、ぼんやりわかる、やがて、はっきりわかる、という風に段階が必ず変化してきます。つらいところかと思いますが、なんとか頑張っただけで自分のリスニング力の上昇を実感できるチャンスを持っていただければと思います。

■発音テストが難しい／苦手だ／採点基準が知りたい

概ね以下の基準でつけています。まず、声が前まできちんと聞こえること。これを満たしていればおよそ 3/5 点がついています。コミュニケーションの基本は相手に聞こえるということです。次に、「ノンネイティブとして十分にクリアな発音であり、どの単語を発音しているのか全く迷いなく 100%理解できる」レベルであれば 5 点となります。誤解がないように申しておくと、ネイティブっぽいから 5 点というわけではありません。センテンスのすべての部分がミスなく明瞭に伝われば 5 点がつきます。4 はこれにやや足りない場合です。発音が不明瞭なところ、抑揚の不自然なところがセンテンス全体のおよそ 20%未満（1 か所か 2 か所）におさまっていれば 4 点になります。この箇所がもう少し増えて、20~40%程度（3~5 か所）になれば、3 点となります。

個別の発音の改善点については、一斉授業の中ではなかなか時間をかけて行いくいのですが、細かい指導を受けたい方は、メールでアポを取ってください。20 分程度いただければ個別に対応します。発音の個人指導は、一度受けたとかなり上達します。

■ときどき英語での説明が聞き取れない

できるだけみなさんに質問がないか確認するようにしますので、遠慮なく質問してください。わからなければ恥ずかしがらずその場で手をあげるのも英語のトレーニングの一部です。

■さいごに

良い授業は、教員だけでも学生だけでも作れません。教員と学生の協同作業ではじめて生まれるものであり、それができたときにもっとも英語の学びがうまく成立するのだと思います。皆さんの貴重なご意見に感謝します。では、残り半分となりましたが、後半も頑張っていきましょう！

平成23年度（2011年度）前期神戸大学石川研究室
中間授業評価アンケート・フィードバック
英語アドバンスト（火3・自由選択）

●評価の概要

平均評価点	8.50点／10点	標準偏差（SD）	0.97	有効回答数	16人
-------	-----------	----------	------	-------	-----

●評価点

厳しい指導，プレゼンの面白さが分かった，プレゼン回数が多い，何度か人前で発表できる，多数の人からもらえる評価，プレゼンの作り方の細かい説明はこれからの自分に必要な能力なのでありがたい，英語で練習するので英作文の力もあがる，論理的思考を意識するようになった，クラスみんながやる気があるので負けたくないと思える，全くやり方を知らなかったのがためになった，発表する機会，ためになるアドバイス，パワポ実用的，プレゼン練習のいい機会，みんなからの評価，論理的思考，今まであまりなかった話す練習，人に物を伝える技術が身につく，先生の個別アドバイス，みんなの感想，授業内容はわかりやすい，うまい人のプレゼンを見るので参考になる，大変だがやりがいがある，**I can get evaluations of my presentation from all of the class**，先生がめっちゃ的確なアドバイス，先生のモデルプレゼン，コメントシート，プレゼンの仕方を論理的に分かりやすく学べる，自分のプレゼンにいろいろな意見がもらえて人の物も参考にできる，発表の場が多い，周りのレベルが高くて自分もまじめにやらないと思う，プレゼンに関する英語表現を学べる，人の発表を聞く，授業が英語，リスニング・トーキングスキルがアップ，プレゼンする場がないのでここで練習できる，

●改善点

もっと授業がほしい，Q&Aの練習をもっとしたい，2週サイクルで回ってくるのが少々しんどい・・・ですが成長できるので別に平気です，もう少しそれぞれの提案に議論を交わす時間がほしい，発音のレクチャーもしてほしい，本番が5分なのになぜ授業が3分かの理由が明確でない，テーマについて改善するようアドバイスされたが直し方がいまいわからない，あてられると困る，1単位しか手に入らない，交友関係を広げられない，人のプレゼンを聞くだけの日が少し退屈する（仕方ないことですが），最初考えていた授業内容と少し違っていた，精神的にしんどい，自分には少しレベルの高い授業なのでときどきしんどい，トピックは自分で決められるようにしてほしい，小テストの後のスライドのペースが速いです，

●講師コメント

全体として一定の評価を得ているようですので，基本的には後半も同一の方針に従って授業運営を進めていきます。プレゼンをきちんと学ぶ経験がこれまで少なかったせいかな，あまり退屈されず，新鮮味を持って授業に取り組んでくれている方が多かったのは講師としても大変うれしく感じたところでした。

一方で，改善点として貴重な意見をいただきました。以下，主要な意見についてコメントを行います。

★Q&A練習：6月以降，本番に向けて増やしていきます。まずはその前に質問の出ないようにプレゼンそのもののロジックをあげることを優先して指導します／★2週サイクル：申し訳ないです。。が，逆に言えば，隔週で発表ができるというのはこのうえなく贅沢な練習環境ともいえないでしょうか？／★もっと議論時間：納得です。後半以降時間を作っ

ていきましょう。また個人チュートリアルも活用ください／★発音レクチャー：本番直前に必ずやります／★本番5分なのになぜ3分：この段階では1度にたくさんの人に練習してほしいので3分にしています。5分で作ったものの途中から始める、などでもOKです／★テーマの直し方：個人チュートリアルお待ちしております！／★1単位：このへんカリキュラムのことも考えてみます。大学全体で検討中です／★交友関係：本番の後の懇親会、お楽しみに／★人のプレゼン聞くだけだと退屈：後半以降、ディスカッションの時間を入れていきます／★精神的にしんどい：プレゼンは楽しむものなので、そう感じていただけるよう配慮します／レベルの高い授業なのでときどきしんどい：実社会では英語のプレゼンはもはや基本ツール。皆さんの基礎力でできない話ではありません。安心してください／★トピック自由に：今回はコンテストを前提にしているので申し訳ない。しかしこのテーマの中でも個性は十分に出せると思います／★スライドのペース：了解。早かったら遠慮なく声をかけてください。

最後に、良い授業は、教員だけでも学生だけでも作れません。教員と学生の協同作業ではじめて生まれるものであり、それができたときにもっとも英語の学びがうまく成立するのだと思います。皆さんの貴重なご意見に感謝します。では、残り半分となりましたが、後半も頑張っていきましょう！また、コンテスト、楽しみましょう！！